

RECORDS

● 2004年度 編集・広報委員会 報告

日 時：2004年6月1日

場 所：ライフォート札幌

出席者：岡田、小西、小山、佐々木、渋谷（部分的出席）、関野、高井、美津島、村上、河村（オブザーバー）

1. 2003年度活動報告

岡田幹事より、日生誌編集については、①委員分担体制を強化したこと、②66巻7/8号までの編集を終えたこと、③原著・短報の掲載を取り止め、Lecturesを充実させたこと、④表紙をリニューアルして日生誌掲載分から選んだ図・写真で飾る事にしたことが報告された。PSJ-Web広報について、①管理・更新の分担を1名から5名の体制にしたこと、②トップページを外注によって一般市民向けにリニューアルしたこと、③日生誌記事をPDF版として閲覧を可能としたこと、④更新情報を会員にダイレクトメールリングすることにしたことが報告された。

2. 2004年度活動方針

1) 日生誌編集

①執行委員体制を廃止し、日生誌の各コーナーの編集分担やPSJ-Web管理・更新分担や表紙図選定分担を受持っていない委員は校正・編集後記執筆の

分担を受持つことにする（分担はWeb掲載名簿参照）。

②表紙図の選定は、札幌大会のポスターより分担責任者が行う。

③VisionとLecturesの本年度の執筆者候補のリストに従い打診する。他のコーナーについては随時リストを加え、各分担責任者に連絡する。

2) PSJ-Web広報

①PSJ-Web（日本語版）をさらに利用しやすいものにするために、以下の点を外注によって改善する。

・4月にリニューアルされた一般向けページと従来の会員向けページとを統合する。

・ナビゲーション部は、「お知らせ」「生理学会組織」「ジャーナル」などにまとめる。

・サイトのディレクトリー構造も整理する。

②上記の点を可能とする提案と見積をCognitom Academic Design社に依頼する。

③英語版については次回以降検討する。